

とんがりぼうし

平成25年2月発行 第24号

基本理念（共働・共生・共感）

平成24年・12月14日・董授園忘年会の様子



（忘年会にて磯山さんによる尺八の演奏）



（サンタからのクリスマスプレゼント
中身は何が入っているのかなぁ～）

目次

トリムバレー大会／日帰り旅行	2
施設長御意見／董授園忘年会／お知らせ	3
国内歯科研修報告／防災避難訓練／編集後記	4

第 21 回 茨城県身体障害者トリムバレーボール大会

董授園



平成 24 年 10 月 17 日（木）つくば国際大学体育館において、第 21 回茨城県身体障害者トリムバレーボール大会が行なわれました。

更生の部では、5 施設の参加となりました。董授園は、優勝候補のはまなす荘に敗れ、惜しくも 3 位という成績でした。

次回の大会では、さらなる上位入賞を目指し、日頃の練習に力を入れていきたいと思います。

日帰り旅行（上野動物園）に行ってきました！！



十一月一五日（木）に日帰り旅行で、上野動物園に行ってきました。当日は天候もよく、明るい日差しの下、間近に動物を見学する事ができました。また、動物が大好きな方が多い為、園内どこに行っても大盛りあがりでした。

ここでは皆さんの感想をご紹介します。

実際に本物の動物を見学して、テレビで見るより大きくて迫力がありました。すごかったです。

Nさん

シャイアントパンダの真真とカカが思っていたより、大きくてすごく可愛かったです。機会があったら、また行きたいです。

Oさん

施設長御意見

「自分が“主語”の人生を」

大泊 幸三

先日、ある新聞に全盲ろう者の大学教授（9歳で失明、18歳で聴力も失ったが、のちに全盲ろう者初の大学入学者となった）から、新成人の皆さんに対するコメントが掲載されていました。

「20歳を迎えた皆さんの中には、人生設計をしっかりと持っている人もいるだろう。だが、将来展望がまだはっきりせず、問いにぶつかっている人もいるのではないか」との始まりで、「自分の人生であまり不満を感じないですむコツ」を紹介していました。

簡単に言えば、「人生の“主語”を常に自分にする」「人生で何をしたいのかは自分が考え、どんな生き方をするのかも自分が決める」という事だそうです。

もちろん、自分だけでは社会では生きられません。多かれ少なかれ、生きるという事は他者との共同・協力作業です。もちろん、それを前提としつつも、人生を決める主体は自分でしかない、という事の様です。

上記のような内容でしたが、他の障害者や健常者にも当てはまる言葉だと強く心に感じました。人生においても、仕事においても、まず自分で事を始めなければなりません。目標を持ち、その目標に対して日々、努力しなければ物事は始まりません。

私達も自らの人生の「主語」を常に自分にするという事を念頭に、これからの人生を生きて行きたいものです。

堇授園忘年会

平成24年12月14日（金）に堇授園にて忘年会を行いました。各個人毎にお寿司とオードブルが用意され、お酒やジュース等を飲みながら楽しんでいました様子でした。今回の余興は、磯山さんによる尺八の演奏・音楽サークルによる大正琴の演奏、クイズ大会でした。1年間の締めくくりとして、皆さん和やかに楽しんでいました様子でした。

お知らせ



AED（自動体外式除細動装置）の設置

当園でも、緊急時（意識不明・心肺停止等）に備え、AED（自動体外式除細動装置）を玄関ホールに設置致しました。アナウンスに従って使用する事で、適切な対応が可能となります。

園内歯科研修報告！！



歯科研修

九月二十七日に、協和中央病院歯科の串田先生と衛生士の秋本さんに来園して頂き、園内研修会を行いました。

口腔内疾患の恐ろしさや口腔ケア・治療の大切さなど、わかりやすい説明でとても勉強になりました。

虫歯や歯周病の予防には、定期的な歯科受診が大切との事です。また、残存歯が多いほど健康寿命は延びるとの事です。

毎食後の歯磨きをしっかりと行い、歯を大切にしていきたいと思いました。

看護師 谷島朋子

防災避難訓練



毎月の防火自主点検の他、防災訓練を日勤帯・夜間帯の想定で行っています。今回（平成24年10月30日実施）は消防署職員の指導のもと、職員による消化器訓練も行いました。

今後も利用者様が安全でより迅速に避難できるよう訓練を行い、職員・利用者様各自の防災意識の向上に努めていきます。

〒309-1107 筑西市 門井 1687-1
社会福祉法人 恒徳会 董授園
☎ 0296-57-3400

発行責任者 大泊 幸三
編集員 中原 誠
市村 真幸

編集後記

先日、部屋の大掃除をしていた時の事です。しまってあった箱の中から、なつかしい物が出てきました。初代理事長であった久野恒一先生が、職員全員に書いてくださった色紙です。そこには「忍」の一字が書かれていました。当時は表面的な意味でしか理解できませんでした。が、今になって久野先生が職員一人一人に伝えたかった事をより深く理解できたような気がします。政治経済等何かと厳しい世の中ですが、耐え抜いた先に明るい未来があると信じて、何事にも粘り強く取り組む姿勢が大事だと思いました。

中原